



3



2

1 ぶどう畑の奥にのぞくオーベルジュ。
 2 ワインとその故郷を味わうワインツーリズムの醍醐味をご堪能あれ。3 部屋名はぶどうシリーズのワイン名と同じ生きものの名前がつけられている。ここでは「みつばち」。4 最高のマリアージュにワインが進みそう。5 居心地のいいラウンジで、お客様同士やスタッフと、ワイン談義が盛り上がることもしばしばだとか。6 ホテルの敷地内には宿泊客のみなので、落ち着いた時間が過ごせます。7 もうひとつの宿泊施設「ヴィネスバ」が併設された日帰り温泉には、本格的なサロンもある。

リピート率を上げ続ける
 トータルなもてなし心

日本での本物のワイン醸造のバイオニアともいえるのが、このカーブドッチ。その良質なワインを、食事とともに真に楽しむため、令和元(2019)年に誕生したオーベルジュが、「Winerystay TRAVIGNE (トランヴィーニユ)」です。シェフが大切にしているのは「ワインが当たり前のものとしてある」雰囲気。懐かしい大切な場所に帰ってきたように肩の力を抜いて、心のこもったワインと料理を、自由に楽しんでほしいという気持ちを感じます。

程よい距離を保ったスタッフのホスピタリティも、ワイナリーで過ごす時間を思い出深いものにしてくれます。



Cave d'Occhi Winerystay TRAVIGNE

ぶどう畑でつくり手とワインを語る喜び

(新潟県新潟市)

日本離れた環境で 日常を忘れワインに没頭

ワインの世界には、「風土」や「土地の個性」を表すテロワールという言葉があります。ワインの味わいや特徴は、その土地の風土によって決まるといふ考えです。

そのためワイナリーとは本来、自分が選んだ土地で、自ら育てたぶどうの栽培から醸造、さらには販売までを担う施設のことを指しました。

ワインツーリズムは、どのようにしてワインが生み出されたか、大切なワインの故郷を訪ねる旅です。ワイナリーに足を運び、清らかなぶどう畑を見て、ワインのつくり手と話をすると、もちろん、その場でワインを味わうことも欠かせません。

ゆったりとした時間のなかで、相性

のいい料理とともに、ワインとの出会いを心ゆくまで満喫したい。そんな願望を叶える、新潟市のワイナリー「Cave d'Occhi(カーブドッチ)」は、ふたつの宿泊施設を併設しています。

ここにあるのは、角田山の麓に広がるぶどう畑と、醸造場に加えてレストランやショップを備えたワイナリー施設。「まるでフランスの農村かナバレーにいたるよう」とお客様に言われることも多いのだとか。

住所 新潟県新潟市西蒲区角田浜 1661
 TEL 0256-77-5460
 HP <https://travigne.jp/>
 電車 JR各線新潟駅より無料送迎バス(要予約)、JR越後線内野駅よりタクシーで約30分



5



4



7



6